



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 東 大

上場会社名 宝ホールディングス株式会社

コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮 久

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 掛見 卓也

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	153,915	4.0	9,725	4.9	9,999	7.5	4,224	△11.2
23年3月期第3四半期	147,969	0.0	9,274	0.2	9,298	△2.1	4,757	△10.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,588百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 1,899百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	20.39	—
23年3月期第3四半期	22.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	199,037	106,662	47.2
23年3月期	192,448	106,895	49.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 93,998百万円 23年3月期 94,308百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	8.50	8.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	197,400	4.0	8,600	3.2	8,900	5.6	3,300	△12.9	15.96

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	217,699,743 株	23年3月期	217,699,743 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	12,289,082 株	23年3月期	10,069,310 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	207,207,093 株	23年3月期3Q	208,174,206 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 追加情報 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞からの持ち直しの動きがみられた一方、海外経済の減速や円高の影響などから、先行きの不透明感は依然として払拭できない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、長期経営ビジョン「TaKaRaグループ・ビジョン2020」の実現へ向け、「国内での安定成長を実現するとともに、海外で大きく成長するための事業基盤を拡大する」ことを基本方針とする3カ年の中期経営計画「TaKaRaグループ中期経営計画2013」に取り組んでおります。

国内酒類事業、調味料・酒精事業においては、震災の影響が残る中、消費者の皆さまへ安全・安心な製品を安定的にお届けするための体制を確保するとともに、多様化する消費者嗜好に対応した新製品の開発、ブランド育成などに注力いたしております。また、海外酒類事業、日本食材卸事業についても震災の影響が懸念されましたが事業拡大は順調に進んでおります。研究用試薬を中心とする遺伝子工学研究事業は特に海外市場での売上高が増加しており、遺伝子医療事業、健康食品事業についても事業基盤の確立を着実に進めております。

この結果、当第3四半期累計期間の連結売上高は前年同期比104.0%の153,915百万円、営業利益は同104.9%の9,725百万円、経常利益は同107.5%の9,999百万円と増収増益となりました。一方、特別損失において、被災した製品の廃棄・評価損などで「災害による損失」783百万円を計上したほか、株価下落の影響を受けて投資有価証券評価損415百万円を計上いたしました。また、法人税率の変更の影響もあり四半期純利益は前年同期比88.8%の4,224百万円となりました。

セグメントの業績の概要は次のとおりであります。

#### [宝酒造グループ]

当セグメントの中核である宝酒造株式会社では、震災により東日本の物流拠点に被害を受けましたが、生産・供給体制を早期に整え、市場の需要動向に的確に対応するとともに新製品やブランドの育成に努めました。その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比104.6%の137,671百万円と増収となりました。品種別には、「ソフトアルコール飲料」では、＜焼酎ハイボール＞が引き続き好調に推移するとともに＜直搾り＞も増加し大幅な増収となりました。また、料理清酒等の「その他調味料」、ウイスキー等の「その他酒類」、「原料用アルコール等」もそれぞれ好調に推移し、「その他」部門の海外の日本食材卸事業では、FOODEX S.A.S. (仏国)の売上高も当セグメントの増収に寄与しました。一方「清酒」では、環境にやさしい新容器を採用した＜松竹梅 天 エコパウチ＞を新発売し、テレビ・コマーシャルを放映するなど需要喚起を図りましたが、海外子会社の清酒売上高が円高の影響を受けたこともあり減収となりました。「焼酎」および「本みりん」では高価格帯製品の売上高が減少しました。利益面では、原材料価格の高騰により原価率が上昇し、売上総利益は前年同期比103.4%の51,868百万円となりました。また販売費及び一般管理費は、被災した物流拠点の代替措置によるコストアップのほか、売上高増加に伴う販売促進費の増加やその他の費用の増加もあり前年同期比104.2%の43,813百万円となりました。以上の結果、当セグメントの営業利益は前年同期比99.1%の8,055百万円となりました。

#### [タカラバイオグループ]

当セグメントの遺伝子工学研究事業においては、研究用試薬が円高の影響を受けたものの前年同期比で増加し、質量分析装置などの理化学機器も好調に推移いたしました。また遺伝子医療事業では、がん免疫細胞療法を実施する医療機関への技術支援サービスの売上高が増加しました。医食品バイオ事業では、食品安全検査関連の受託業務終了に伴う売上高の減少がありましたが、健康食品およびキノコ関連製品の売上高が前年同期比で増加しました。その結果、当セグメントの売上高は前年同期比103.1%の13,443百万円と増収となりました。利益面では、原価率が低下したことから売上総利益は前年同期比106.2%の7,376百万円となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や研究開発費の増加により前年同期比101.5%の6,503百万円となり、以上の結果、当セグメントの営業利益は前年同期比163.1%の872百万円と増益となりました。

#### [宝ヘルスケア]

健康食品の主力であるフコイダン関連製品の売上高は増加いたしました。その他の飲料の売上高が減少したため当セグメントの売上高は前年同期比93.1%の1,910百万円と減収となりました。利益面では、利益率の高いフコイダン関連製品の増加により売上総利益は前年同期比103.3%の669百万円となりました。当セグメントは、引き続き事業育成のための広告宣伝費を先行的に投下しているため当第3四半期連結累計期間に営業損失87百万円を計上しておりますが、損失は前年同期に比べ96百万円減少いたしました。

#### [その他]

報告セグメント以外の「その他」のセグメントの売上高は、前年同期比93.0%の5,775百万円となり、営業利益は、前年同期比70.6%の115百万円となりました。

## 品種別販売実績

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同期比
品種	金額(百万円)	(%)
宝酒造グループ		
焼酎	57,605	99.8
清酒	16,813	99.4
ソフトアルコール飲料	21,581	123.3
その他酒類	7,940	106.2
酒類計	103,941	104.3
本みりん	11,879	98.1
その他調味料	5,846	104.6
調味料計	17,725	100.2
原料用アルコール等	4,927	105.9
物流	6,716	101.6
その他	4,359	144.3
計	137,671	104.6
タカラバイオグループ	13,443	103.1
宝ヘルスケア	1,910	93.1
その他	5,775	93.0
事業セグメントに配分していない 売上およびセグメント間取引消去	△4,884	—
<b>合計</b>	<b>153,915</b>	<b>104.0</b>

(注) 金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は199,037百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,588百万円増加いたしました。流動資産は、自己株式の取得による支出などによる現金及び預金の減少5,034百万円がありましたが、受取手形及び売掛金が17,323百万円増加しましたので、前連結会計年度末に比べ9,887百万円の増加となりました。固定資産は上場株式の時価下落による投資有価証券の減少1,889百万円や、法人税率変更等による繰延税金資産の減少445百万円などにより前連結会計年度末に比べ3,299百万円の減少となりました。

負債合計は92,374百万円となり、支払手形及び買掛金の増加1,445百万円や、未払酒税の増加5,417百万円などにより、前連結会計年度末に比べ6,820百万円増加いたしました。また1年内に償還予定の社債5,000百万円を固定負債から流動負債へ振り替えております。

純資産合計は、四半期純利益4,224百万円及び配当支払1,767百万円により利益剰余金が2,457百万円増加しましたが、株主還元策としての自己株式の取得による自己株式の増加(純資産に対してはマイナス)1,078百万円やその他有価証券評価差額金の減少923百万円などにより前連結会計年度末に比べ232百万円減少し、106,662百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

弊社子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号4974 東証マザーズ)が平成24年1月30日に公表いたしました平成24年3月期第3四半期決算短信において、同社の通期連結業績予想及び(参考)個別業績予想を修正しております。詳細は同社四半期決算短信をご参照下さい。

なお、当社の通期業績予想につきましては、平成23年11月4日に期初予想の修正を行いましたが、第3四半期が終了した時点でほぼ修正予算通りに進捗しておりますので、売上高、営業利益、経常利益につきましては平成23年11月4日に公表した連結業績予想を見直しておりません。当期純利益につきましては、法人税率の変更による繰延税金資産の取り崩しを考慮し3,300百万円(前回予想比△700百万円)を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	32,782	27,747
受取手形及び売掛金	45,102	62,426
有価証券	12,665	11,745
商品及び製品	20,552	19,662
仕掛品	964	742
原材料及び貯蔵品	2,782	2,921
その他	4,940	4,450
貸倒引当金	△81	△100
流動資産合計	119,707	129,595
固定資産		
有形固定資産	41,645	41,647
無形固定資産		
のれん	4,017	3,649
その他	2,010	1,710
無形固定資産合計	6,028	5,359
投資その他の資産		
投資有価証券	18,527	16,637
その他	6,786	6,011
貸倒引当金	△246	△214
投資その他の資産合計	25,067	22,434
固定資産合計	72,741	69,441
資産合計	192,448	199,037
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,489	14,934
短期借入金	5,182	4,886
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	8,065	13,482
未払費用	3,592	3,854
未払法人税等	1,785	2,561
販売促進引当金	1,576	2,001
その他の引当金	2,218	1,235
その他	5,541	6,172
流動負債合計	41,453	54,129
固定負債		
社債	25,000	20,000
長期借入金	561	521
退職給付引当金	9,644	9,593
長期預り金	6,119	5,825
その他	2,774	2,304
固定負債合計	44,100	38,244
負債合計	85,553	92,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,197	3,197
利益剰余金	85,784	88,242
自己株式	△5,852	△6,930
株主資本合計	96,356	97,734
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,754	1,831
繰延ヘッジ損益	△32	△51
為替換算調整勘定	△4,770	△5,515
その他の包括利益累計額合計	△2,048	△3,736
少数株主持分	12,587	12,664
純資産合計	106,895	106,662
負債純資産合計	192,448	199,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	147,969	153,915
売上原価	89,423	93,282
売上総利益	58,545	60,633
販売費及び一般管理費	49,271	50,907
営業利益	9,274	9,725
営業外収益		
受取配当金	322	359
その他	370	407
営業外収益合計	693	766
営業外費用		
支払利息	433	379
その他	236	113
営業外費用合計	669	492
経常利益	9,298	9,999
特別利益		
固定資産売却益	21	213
投資有価証券売却益	413	2
移転補償金	—	193
その他	36	14
特別利益合計	471	424
特別損失		
固定資産除売却損	174	299
災害による損失	—	783
投資有価証券評価損	1	415
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	424	—
その他	138	94
特別損失合計	740	1,592
税金等調整前四半期純利益	9,030	8,831
法人税、住民税及び事業税	3,943	3,553
法人税等調整額	260	806
法人税等合計	4,204	4,360
少数株主損益調整前四半期純利益	4,825	4,471
少数株主利益	68	246
四半期純利益	4,757	4,224



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,825	4,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,230	△911
繰延ヘッジ損益	△61	△19
為替換算調整勘定	△1,604	△923
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△28
その他の包括利益合計	△2,926	△1,882
四半期包括利益	1,899	2,588
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,142	2,536
少数株主に係る四半期包括利益	△242	51

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第3四半期連結会計期間末の繰延税金資産および繰延税金負債の計算においては、平成23年12月2日公布の「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）に基づく税率・規定を反映し算定を行っております。

当該算定に伴い、当第3四半期連結会計期間末の流動資産に計上した繰延税金資産（繰延税金負債を控除した金額）は46百万円、固定資産に計上した繰延税金資産は421百万円、固定負債に計上した繰延税金負債は42百万円それぞれ減少しました。また、純資産に計上したその他有価証券評価差額金は139百万円増加し、繰延ヘッジ損益は1百万円減少し、当第3四半期連結累計期間に計上された法人税等調整額は563百万円増加しております。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	130,875	12,637	2,048	145,560	2,148	147,709	260	147,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	728	398	3	1,131	4,062	5,193	△5,193	—
計	131,604	13,035	2,052	146,692	6,210	152,902	△4,933	147,969
セグメント利益又は損 失(△)	4,182	47	△186	4,042	90	4,133	624	4,757

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額624百万円には、セグメント間取引消去198百万円、事業セグメントに配分していない損益425百万円（主として持株会社である当社の損益）が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の四半期純利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
売上高								
外部顧客への売上高	137,052	12,977	1,906	151,935	1,723	153,659	256	153,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	618	465	3	1,088	4,052	5,140	△5,140	—
計	137,671	13,443	1,910	153,024	5,775	158,799	△4,884	153,915
セグメント利益又は損 失(△)	8,055	872	△87	8,840	115	8,956	769	9,725

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額769百万円には、セグメント間取引消去84百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益685百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

通期の業績管理を営業利益ベースで行っていること、また、2011年4月に公表した「TaKaRaグループ中期経営計画2013」において、目標とする利益指標を「連結営業利益」としたことから、セグメント利益を営業利益ベースとする方が投資家等により有用な情報を提供できると判断し、前連結会計年度末より営業利益をセグメント利益としております。この変更により、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益を営業利益ベースで作成し直した数値は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	宝酒造 グループ	タカラバ イオグル ープ	宝ヘルス ケア	計				
セグメント利益又は損 失 (△)	8,129	535	△184	8,480	164	8,644	630	9,274

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額630百万円には、セグメント間取引消去97百万円、のれんの償却額△38百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益571百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。